

保護者各位

き さ き 保 育 園
園長 小堀 美佐子

感染症について

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

保育園入園児がよくかかる下記の感染症につきましては、別紙の登園届(保護者記入)の提出をお願いいたします。

なお、保育園での集団生活が可能な状態となってから登園するようご配慮ください。

登園のめやすは下記のとおりです。

病 名	登園のめやす
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していること
風しん	発しんが消失していること
水痘(水ぼうそう)	すべての発しんがかさぶたになるまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	医師により感染のおそれがないと認められていること
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症(O15 等)	医師により感染の恐れがないと認められていること
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと認められていること
髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染の恐れがないと認められていること
新型コロナウイルス 感染症	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過していること
溶連菌感染症	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス等)	嘔吐・下痢等の症状が治まり普段の食事がとれること
手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	全身状態が良いこと
R S ウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
ヒトメタニューモウイルス 感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	すべての発しんがかさぶたになるまで
突発性発しん	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと